

令和元年度第3回自主防災組織等リーダー研修会の結果について

近年では、これまで想定していなかった災害が全国各地で多発しております。

本市においても地震災害では、琵琶湖西岸断層帯や南海トラフ巨大地震の影響を大きく受ける地域であり、より実践に即した訓練が必要であることから、昨年度に引き続き、例年開催の総合防災訓練を第3回目の自主防災組織等リーダー研修会として、自主防災組織等リーダーの地震初動対応、熊本地震でも大きな課題となった避難所の適正な開設・運営に特化した研修(訓練)としました。研修会の主なポイントを以下にまとめましたので、報告します。

1. 日時及び参加者

令和元年8月25日(日) 午前9時00分～12時15分 125名

2. 場所

研修会場:野洲市総合防災センター(野洲市辻町488)

3. 研修内容及び結果

(1) 訓練「地震発生時の初動対応訓練」 東消防署

地震発生時のシミュレーションを行い、より実践的な訓練を行いました。

(2) 講義「避難所について」 危機管理課

避難所の実態や配慮点など事例を踏まえた講義を行いました。



○地震発生時の行動チャート

個人の行動(自助)

地震の発生

直ちに身の安全を確保

※まず低く・頭を守る・動かない

1～2分後火気の始末

○どのように避難すればいいの?

※自治会で決められた一時避難場所へ避難!

1) 避難する際は、頭を守り徒歩で!

2) 隣近所にも声をかけて、みんなで避難!

3) 災害時の必需品は忘れずに!

※自治会の一時避難場所で安否確認・被害状況を報告後、集団で市の指定緊急避難場所又は指定避難場所へ移動

○避難の心得

- ・住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持ちましょう!
- ・車での避難を控えて!
- ・持ち出し品は最小限に!
- ・外出中の家族には連絡メモを残しましょう!
- ・集団で避難しましょう。

○正確な情報の収集を!

市では災害時、防災行政無線、NHKのデータ放送やヤフーの災害情報、市の広報車による広報、市メール配信サービス、市のホームページなど多様な情報手段を通じて情報を発信しております。

○既に周辺で災害が発生している場合の対応

「近隣の安全な場所」への避難や「屋内での安全確保」を行ってください。

洪水を伴う場合は、紐で絞められる運動靴で避難。既に避難経路が浸水している場合は、自宅の2階以上といった高い場所への移動を行い、救助を待つ判断も必要です。

○自主防災組織の行動

自主防災組織集結 ※各自治会で予め決められた一時避難場所へ集結

※集結途上で被害状況の確認

人員点呼・活動開始 ※各班員の人員点呼

※一時避難場所に指揮本部開設

※安否確認

※情報班による被害情報の収集

※消火班による初期消火

※救出・救護班による救出活動等

指定緊急避難場所・指定避難所へ移動

※指定避難所の運営

(3) 訓練「避難所の運営訓練」 危機管理課

避難所の実態や配慮点など事例を踏まえた実践的な訓練を行いました。

○避難所対策の前提

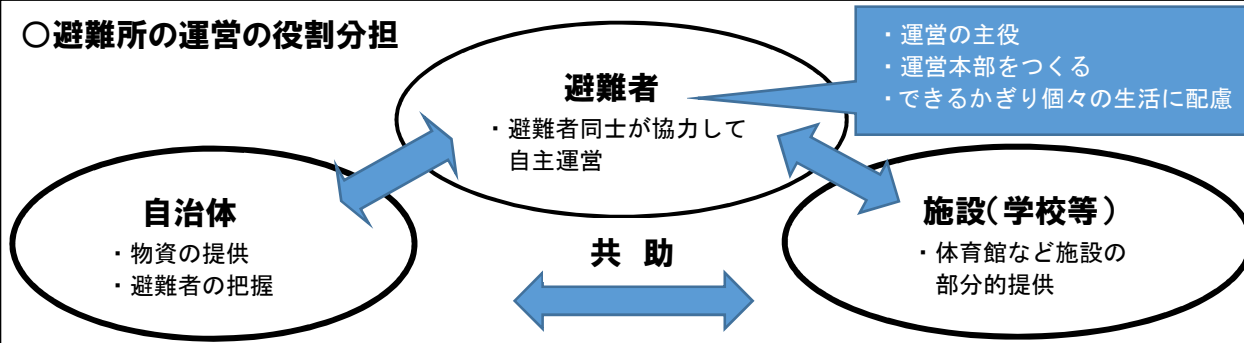
- ・被災者が次の住居が決まるまでの間、**生活再建のスタート地点となる場所**
- ・最近の災害では、**入所者の多くが高齢者**
- ・**大規模災害では、行政も被災しているとともに、災害の緊急対応のため避難者数百人に対して職員1人派遣できるかどうか。→ 市民の「自主運営・共助」が大切！**

○要注意、災害関連死

- ・**避難生活で感染症や持病の悪化などによる間接的な原因による死亡も多い。特に「高齢者対策」が重要！**

近年の災害では災害関連死が増加！**熊本地震（死者 262 人中 81%に当る 212 人が災害関連死）** ⇒ 原因は「余震等の災害ストレス、生活ストレス」による体調悪化
特に高齢者は生活不活発病（動かない。トイレを我慢するなど耐える。身体機能の低下）による災害関連死が多い。 **発災後、1～2週間は特に注意！**

○避難所の運営の役割分担



○要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児など災害時に特別な配慮が必要な人)への現実的な支援

⇒ 福祉避難所で受入体制ができるまで、**避難所内に「福祉避難室」を設ける**。普段介護している人も一緒に生活してもらう。

○避難所開設準備・開設の流れ(災害発生～24 時間以内)

- 1 関係者の参集と施設の開錠
- 2 施設の安全点検
- 3 施設利用スペースの確保
- 4 避難者の受付開始



(4) 講義「避難所での健康被害対策」 野洲市消防団(YFL 分団)

火災時における自分の身の守り方・怪我人への対応等の実技訓練により専門的な知識と技術を修得していただきました。



【最後に】参加者から充実した研修であったなどのご意見をいただいております。残暑厳しい中、ありがとうございました。市では、今後も実践に即した防災訓練を継続して実施して行きたいと考えております。

今後とも市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。 野洲市 市民部 危機管理課